

IV 保 健 予 防 課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届を受理し、疫学調査を実施しました。

また、ノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生時に疫学調査を実施し、感染拡大防止に努めました。

さらに、地方独立行政法人神奈川県立病院機構との協働事業として、不活化ポリオワクチン接種事業を実施しました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する医療・保健指導を行うとともに、接触者への健診を行い、蔓延防止・早期発見に努めました。

また、保健所機能強化型DOTS事業として、訪問や面接等により結核患者の服薬を支援しました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象に早期にエイズ・性感染症についての正しい知識を普及するため、学校等で講演会や予防啓発事業を実施しました。

4 難病対策

難病患者地域支援ネットワーク事業として、講演会、相談会、つどい、訪問相談事業、在宅療養者支援計画策定・評価事業等を実施しました。

医療依存度の高い神経難病患者と介護者の療養支援を目的とする在宅神経難病患者等緊急一時入院の利用にあたって、申請受け付けを行うとともに療養相談を行いました。

また、地域の人材育成として、在宅難病患者保健医療福祉従事者等研修を実施しました。

5 肝疾患対策

第二の国民病ともいわれている肝臓病、特にウイルス性肝炎について専門医の講演会を実施しました。

また、ウイルス性肝炎の早期発見と二次感染予防のため検査を実施しました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の交付及び年2回の健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため登録受付を実施しました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適正な診断・治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行いました。

また、処遇困難事例検討事業を通して、支援者（主に管内地域包括支援センター）の虐待等処遇困難事例に対する処遇能力向上を目指しました。

さらに、認知症患者家族懇談会を実施し、患者家族の認知症理解と適切な介護技術の習得を支援し高齢者虐待の防止に努めました。

9 精神保健福祉対策

専門医による定例相談・訪問、福祉職等による随時相談・訪問を実施するとともに、教育広報活動では、一般へのメンタルヘルスの知識普及及び精神保健福祉協力者の育成のために講演会、研修会を行いました。

また、精神障害者の社会復帰を図るため、家族教室を開催するとともに、家族会・断酒会・ボランティア等への支援を行いました。精神病院における適正な医療の提供と管理運営を図るため、実地指導・審査を行ったほか、地域精神保健福祉連絡協議会をはじめ、各会議を通じて、精神保健福祉関係者のネットワーク構築に取り組みました。

そのほか、社会的引きこもりへの支援と共に、自殺対策としてうつ病講演会（こころと命のサポート事業）を開催しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数	6	5	1		
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	1	1			腸管出血性大腸菌感染症 1
4類感染症	2	2			つつが虫病 1 レジオネラ症 1
5類感染症	3	2	1		アメーバ赤痢 1 梅毒 1 麻しん 1

※ 2類感染症は結核を除く数

※ 5類感染症は全数把握のみ

(2) 通報等に伴う調査

	通報件数	調査者数	患者・保菌者数	行政検便延件数
総数	3	3	0	0
検疫通報(成田空港検疫所から)				
検疫情報(他県等から)	3	3		

(3) 集団かぜによる学級閉鎖状況

	平成22年度			平成23年度		
	施設数	学級数	欠席者数	施設数	学級数	欠席者数
総数	20	36	401	16	31	357
幼稚園	1	3	28	5	10	76
小学校	15	29	346	10	20	269
中学校	2	2	10	1	1	12
高等学校	2	2	17			
特別支援学校						

(4) 不活化ポリオワクチン接種事業(地方独立行政法人神奈川県立病院機構との協働事業)

接種予定者数	来所者数	接種者数
368	334	331

平成23年12月15日から平成24年3月29日まで12回実施

2 結核予防対策

(1) 健康診断

ア 管理検診・接触者健診

	勧告者数	受診者数		受診率(%)	受診結果			
		保健所	医療機関		要医療	経過観察	観察不要	異常なし
管理検診	0							
接触者健診	114	110	2	98	2	15		95

イ 平成23年度エックス線直接撮影検査実施状況

	平成23年度		前年度実績	
	人	件	人	件
管理検診				
接触者健診	112	112	146	146
総計	112	112	146	146

ウ 平成23年度QFT検査・ツベルクリン反応検査実施状況

QFT検査	ツベルクリン反応検査
55	1

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

平成23年12月31日現在

	総数	活動性結核				肺外結核 活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核 感染症 (別掲)
		肺結核活動性			登録時 菌陰性 その他				
		登録時 喀痰塗抹 陽性	登録時そ の他の結 核菌陽性	登録時 菌陰性 その他					
総数	76	10	4	4	7	47	4	18	
受療別	入院	3	2		1				
	在宅医療	22	8	4	4	6		7	
	経過観察	51					47	4	11
市町別	小田原市	58	7	3	2	5	37	4	16
	箱根町	5	1				4		
	真鶴町	2					2		
	湯河原町	11	2	1	2	2	4		2

(イ) 年齢階級別登録患者数

平成23年12月31日現在

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	76	10	4	4	7	47	4	18	
0～4歳	0							1	
5～9歳	0							2	
10～14歳	0							1	
15～19歳	2	1				1		2	
20～29歳	5					5		2	
30～39歳	11			1		6	4	3	
40～49歳	8	1	1	1		5		3	
50～59歳	11	2	1		2	6		4	
60～69歳	15	4	1	2	2	6			
70歳以上	24	2	1		3	18			

(ウ) 新登録患者数

平成23年1月1日～12月31日

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	41	18	10	5	8	17	
0～4歳	0					2	
5～9歳	0					1	
10～14歳	0					1	
15～19歳	1	1				3	
20～29歳	0					1	
30～39歳	1			1		3	
40～49歳	6	2	2	2		3	
50～59歳	6	3	1		2	3	
60～69歳	11	4	3	2	2		
70歳以上	16	8	4		4		

(エ) 結核患者登録率の推移（人口10万対）

	神 奈 川 県		管 内	
	登 録 数	登 録 率	登 録 数	登 録 率
平成19年	4,941	55.5	86	34.6
平成20年	4,602	51.4	100	40.4
平成21年	4,602	51.1	72	29.2
平成22年	4,236	46.8	66	26.7
平成23年	4,275	47.2	76	30.9

(オ) 結核り患率の推移（人口10万対）

	神 奈 川 県		管 内	
	新登録数	り 患 率	新登録数	り 患 率
平成19年	1,654	18.6	34	13.7
平成20年	1,629	18.5	29	11.7
平成21年	1,633	18.1	28	11.3
平成22年	1,577	17.4	35	14.2
平成23年	1,561	17.2	41	16.7

(カ) 結核有病率（人口10万対）

	神 奈 川 県		管 内	
	活動性結核	有 病 率	活動性結核	有 病 率
平成19年	1,459	16.4	29	11.7
平成20年	1,386	15.5	26	10.5
平成21年	1,470	16.3	23	9.3
平成22年	1,350	14.9	19	7.7
平成23年	1,310	14.5	25	10.2

(キ) 結核患者家庭訪問指導状況

	実人員	延人員
平成19年	98	146
平成20年	37	91
平成21年	36	74
平成22年	22	62
平成23年	30	82

(ク) 保健所機能強化型DOTS強化事業（実人員）

訪問	面接	電話
8	6	55

(3) 感染症診査協議会結核部会
医療費公費負担診査件数

	総数	37条申請入院勧告	37条の2申請 (一般患者)								
			小計	被用者保険		国民健康保険			後期高齢	生活保護	その他
				本人	家族	一般	退職者				
							本人	家族			
申請件数(計)	132	45	87	20	3	28	2		18	16	
医療内容合格	132	45	87	20	3	28	2		18	16	
公費負担承認	132	45	87	20	3	28	2		18	16	
公費負担不承認	0										

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

エイズ相談は医師・保健師による随時相談。検査は月 2 回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
相談件数	280	292	299	351	510	659	418	428	392
検査実施数	66	78	88	99	126	169	112	128	108

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	3	40	35	14	6	10	108
男	1	16	24	11	6	9	67
女	2	24	11	3		1	41

(2) エイズ予防啓発事業

	内 容	会 場	参加者数
H23. 4. 8 H23. 9. 2	研修参加者、看護学生等へのパンフレットの配布	小田原合同庁舎	59
H23. 10. 29	個別またはグループ面談方式によるエイズクイズ (小田原高等学校定時制文化祭)	小田原高等学校	40
H23. 10. 30	個別またはグループ面談方式によるエイズクイズ (関東学院大学文化祭)	関東学院大学 小田原キャンパス	40

(3) 青少年エイズ・性感染症予防講演会

エイズ・性感染症の正しい知識と予防に関する普及啓発を行うため、高校生等を対象に講演会を開催しました。

	学 校 名	講 師	受講者
H23. 6. 2	小田原高等学校（定時制）	保健師	160
H23. 11. 14	小田原総合ビジネス高等学校	医 師	237

4 難病対策

平成 24年 3月 31日現在

(1) 特定疾患医療受給者証交付件数

		総 数			小 田 原 市			箱 根 町			真 鶴 町			湯 河 原 町		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
(56)	総 数	653	834	1487	517	681	1198	29	44	73	29	20	49	78	89	167
膠原病	1	16	17	33	11	11	22	1	2	3		3	3	4	1	5
	4	9	118	127	6	102	108		6	6	1	3	4	2	7	9
	7	1	13	14		12	12				1		1		1	1
	9	14	72	86	11	59	70		3	3	2	1	3	1	9	10
	11	3	6	9	2	5	7				1	1	2			
	13	1	9	10		8	8	1		1					1	1
	15	5	4	9	4	4	8							1		1
	19	2	7	9	2	7	9									
	21	4	4	8	4	4	8									
	25	2	2	4	2	2	4									
(15)	28															
	29	1	1	2	1	1	2									
	34		18	18		16	16		1	1					1	1
	53		1	1		1	1									
	54															
	計	58	272	330	43	232	275	2	12	14	5	8	13	8	20	28
血液系	6	8	6	14	6	6	12	1		1	1		1			
	10	16	29	45	13	26	39	2	2	4	1		1		1	1
	35	2	1	3	1	1	2							1		1
(3)	計	26	36	62	20	33	53	3	2	5	2		2	1	1	2
循環器系	14	3	3	6	2	1	3		1	1		1	1	1		1
	26	20	5	25	17	4	21	2		2	2		2		1	1
	36	10	4	14	7	4	11	1		1				1		1
	39		2	2		2	2									
	43	2	1	3	2	1	3									
	44	2	3	5	1	3	4	1		1						
	50	1	2	3	1	2	3									
	51															
	計	38	20	58	30	17	47	4	1	5	2	1	3	2	1	3
神経系	2	10	22	32	9	16	25	1	1	2		1	1	1	4	5
	3	7	20	27	3	15	18		1	1	1	2	3	2	2	4
	5	1		1				1		1						
	8	12	8	20	10	6	16	1		1				1	2	3
	16	28	26	54	22	16	38	2	1	3	2		2	2	9	11
	20	83	104	187	66	85	151	2	6	8	4	2	6	11	11	22
	22	53	32	85	39	18	57	2	3	5	4	2	6	8	9	17
	23	1		1				1		1						
	24	8	17	25	6	15	21		2	2	1		1	1		1
	27	10	19	29	7	17	24				1		1	2	2	4
	30	6	2	8	4	1	5							2	1	3
	33	21	14	35	17	11	28		2	2	1		1	3	1	4
	37	37	47	84	32	35	67		4	4	2	2	4	3	6	9
	38	1		1	1		1									
	40	3	6	9	1	5	6	1		1		1	1	1		1
	41															
	45															
	47	1	1	2	1	1	2	1		1						
	48	3		3	1		1							1		1
	49	2	3	5	1	3	4							1		1
	52	1	1	2	1	1	2									
	55		1	1												1
	計	288	323	611	221	245	466	12	20	32	16	10	26	39	48	87
消化器系	12	155	141	296	125	120	245	5	7	12	4		4	21	14	35
	17	80	9	89	72	8	80	3		3				5	1	6
	18	1		1	1		1									
	31	3	25	28	2	19	21		2	2				1	4	5
	32															
	42															
(6)	計	239	175	414	200	147	347	8	9	17	4		4	27	19	46
代謝系(1)	46															
	計															
内分泌系(1)	56	4	8	12	3	7	10					1	1	1		1
		4	8	12	3	7	10					1	1	1		1

(2) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、保健、医療及び福祉に関する講演会、つどい、相談指導等を実施するとともに、きめ細やかな支援の必要な難病患者に対し、関係機関との連携のもと適切な在宅療養支援を提供するための検討を行いました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

・在宅療養支援計画策定・評価委員会

難病患者への保健福祉事業が円滑かつ効果的に行われるために、難病患者とその家族を取り巻く状況や課題等を把握検討し、管内の難病保健福祉ケアの向上を図る。

神経難病医療ネットワーク検討会として開催

	内 容	出席者数
H23. 6. 14	今年度の計画 災害等緊急時対応について	16
H23. 9. 13	「小田原市の要援護者登録・所在マップ」と「救急要請カード」について 東日本大震災に関わる情報交換会での報告	21
H23. 11. 8	災害時における要援護者対策 小田原市障害福祉課の取り組み 神経難病患者に必要な対策	16
H24. 1. 17	管内筋萎縮性側索硬化症の状況	19

イ 難病講演会及び難病相談会

	テ ー マ		講 師	会 場	参加人数
H23. 12. 16	相談会	神経難病個別相談会	マナクリニック 副院長 須田南美氏	小田原保健福祉 事務所健診室	4 ケース

ウ 難病患者と家族のつどい(対象 全疾患)

開催日	内 容	担当者	会 場	参加数 (人)
H23. 4. 19	情報交換	保健師・ボランティア	小田原保健福祉事務所	11
5. 17	体操	保健師・ボランティア	〃	9
6. 21	自主活動(屋外)	ボランティア	屋外	11
7. 19	計画停電に伴う夏休み			
8. 16	計画停電に伴う夏休み			
9. 20	歌、会長の話	保健師・ボランティア	小田原保健福祉事務所	10
10. 18	口腔ケア	保健師・歯科医師 ・ 歯科衛生士・ボランティア	〃	10
11. 15	自主活動(絵画)	ボランティア	〃	12

12.20	クリスマス会	保健師・ボランティア	〃	9
H24. 1.17	歌	保健師・ボランティア	〃	11
2.21	自主活動（創作活動）	ボランティア	〃	10
3.13	1年の振り返り	保健師・ボランティア	〃	11

難病患者と家族のつどい（対象 パーキンソン病）

開催日	内容	講師	会場	参加人数
H23. 9.20	・講話「パーキンソン関連疾患の基礎知識」 ・情報交換会	箱根病院 神経内科医長 阿部達哉医師 保健師	小田原保健福祉事務所 多目的教室他	20

エ 訪問相談事業

訪問相談員として保健師、看護師を雇用し、要支援難病患者宅を訪問し、患者・家族の療養上の悩みに対し相談指導を実施し療養支援をしました。

実施回数	訪問相談対象実人員	延人員
25	6	25

オ 保健師による家庭訪問・所内指導
家庭訪問

	総数	神経系	膠原病	消化器系	血液系	循環器系
実人数	47	38	9			
延べ	102	87	15			

随時相談

面接	電話	その他	総数	主な相談内容（延べ）					
				申請	医療	看護	福祉	その他	延べ計
1,055	241	3	1,273	1,065	48	138	68	30	1,349

(3) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院（平成17年4月より開始）

2時医療権に1床、圏域で6床、管内は足柄上病院に1床確保されている。医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院の受け入れを行う。

＜利用者の状況＞ 利用回数 12件(実利用者 7名)

利用者	利用月	疾患	医療機器	性別	理由	期間	受入病院
A	H23. 8 H23. 10 H24. 1	筋萎縮性側索硬化症	人工呼吸器	男	社会的理由(法事)	4日間	足柄上病院
					介護疲労	5日間	足柄上病院
					介護疲労	4日間	足柄上病院
B	H23. 10	筋萎縮性側索硬化症	人工呼吸器 吸引器 気管切開	女	介護疲労	14日間	足柄上病院
C	H23. 6	モヤモヤ病	吸引器 胃ろう	男	介護者の疾病	7日間	鶴巻温泉病院
D	H23. 8 H23. 12	多系統萎縮症	吸引器 胃ろう 気管切開	女	介護疲労	14日間	足柄上病院
					社会的理由(出張)	14日間	足柄上病院
E	H23. 8	後縦靭帯骨化症	なし	男	介護疲労	10日間	湘南厚木病院
F	H24. 1 H24. 1 H24. 2	パーキンソン病	吸引器 胃ろう 膀胱留置カテーテル	男	介護疲労	4日間	足柄上病院
					介護疲労	14日間	足柄上病院
					介護者の疾病	14日間	足柄上病院
G	H24. 3	多系統萎縮症	吸引器 膀胱留置カテーテル 経管栄養	女	多系統萎縮症	5日間	足柄上病院

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

地域で難病患者に関わっている支援者（ケアマネージャー、介護ヘルパー、サービス提供責任者、訪問看護師、包括支援センター職員等）を対象に、個別事例や地域での支援課題をテーマにスキルアップを目的に実施しました。

実施日	テーマ	講師	会場	参加人数
H23. 11. 29	医療依存度の高い難病患者の在宅ケア～緊急・災害時に対する日頃の備え～	昭和大学保健医療学部看護学科 教授 小西かおる氏	小田原保健福祉事務所 多目的室・実習室	19
H23. 12. 8	在宅酸素療法の基礎知識	富田医院 院長 富田さつき氏	小田原合同庁舎 2階会議室	34

5 肝疾患対策

(1) 肝疾患対策講演会

	テーマ	講師	会場	参加者数
H23. 10. 14	「B・C型慢性肝炎の最新治療について」	東海大学医学部附属病院 消化器内科准教授 加川建弘氏	小田原合同庁舎 3階3EF会議室	30

(2) C型及びB型肝炎ウイルス検査 (H20. 2からHB s 抗体検査は中止)

	HCV抗体	HB s 抗原
受診者数	0	0
陽性者数		
陰性者数		

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	H24. 3月末現在 手帳保有者	新規交付
総 数	132	1
被 爆 者 健 康 手 帳	65	
第1種健康診断受診者証		
第2種健康診断受診者証		
被爆者のこども受診者証	67	1

イ 被爆者健康診断実施状況

		受診者			要精検者	要治療	
		総 数	被爆者	第2種 被爆者の 子ども			
平成23年度	総 数	10	9	0	1	5	0
	第1回 5月	6	6			3	
	第2回 11月	4	3		1	2	
平成22年度		18	14		4	6	

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原・大和保健福祉事務所の2カ所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	21年度	22年度	23年度
総数	8	4	4
男	2	2	2
女	6	2	2

(2) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
骨髄ドナー登録者数	407,871	17,800
患者登録者数	3,046	91
骨髄移植例数(累計)	14,051	836

※骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 2012.3.31現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症相談事業

ア 随時相談

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法			相談内容(延数)						
		電話	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介 護 保 険 サ ー ビ ス	その他
92	265	222	37	6	18	73	21	152	12	17	19

イ 定例相談

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法			相談内容(延数)						
		面接	訪問	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介 護 保 険 サ ー ビ ス	その他
40	40	4	28	8	16	11	6	40	2	10	1

(2) 家庭訪問指導事業実施状況

件数	訪 問 数						年 齢 別 (実数)					
	男		女		総数		60歳 未満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
	10	18	9	9	19	27	2	1	4	10	2	19

(3) 処遇困難事例検討事業
ア 研修会

	内 容	講 師	会 場	参加者
H24. 1. 12	「認知症の理解と対応」 「成年後見制度について（判断能力が低下する前の備え、判断能力が低下した場合の対応）」	平塚松風司法書士事務所 司法書士 大谷潔氏	箱根町役場	38
H24. 1. 26	相続・遺言について			29

イ 処遇困難事例検討会議

	内 容	会 場	出席者
H23. 6. 15	子から生活の制限があたえられている事例 助言者：和田社会福祉士事務所 社会福祉士 和田明子氏	小田原合同庁舎	4
H23. 8. 17	(夏季節電のため中止)	小田原合同庁舎	
H23. 10. 19	契約について 助言者：西湘法律事務所 弁護士 三宮政俊氏	小田原合同庁舎	27
H23. 12. 21	親族とのトラブル、セルフネグレクト 助言者：西湘法律事務所 弁護士 三宮政俊氏	小田原合同庁舎	41
H24. 2. 15	子と意向が異なる事例～ケアマネジメント～ 助言者：小田原保健福祉事務所職員	小田原合同庁舎	15

その他、随時 処遇困難事例検討会議 32回実施。

ネットワーク整備の検討として小田原市8回、箱根町3回、真鶴町1回、湯河原町2回連絡会に参加。

(4) その他

ア 認知症患者家族懇談会

	内 容	講 師	参加者
H23. 9. 20	聞いてみよう、高齢者サービスのあれこれ！	小田原市職員	11
H23. 10. 31	認知症の理解と対応	ひまわりメンタルクリニック 院長 小林博子氏	17
H23. 11. 15	香りでちょっと一息リラックス	AEAJ認定アロマセラピスト (現役介護者)	13
H24. 1. 20	介護者のメンタルヘルス	ひまわりメンタルクリニック 院長 小林博子氏	8

4月、6月、7月、12月、2月、3月は懇談会を実施。

5月は認知症の人と家族の会神奈川県支部と共催で交流会を実施。 H23年度参加者 延べ136人

9 精神保健福祉対策

地域における精神保健及び精神障害者の福祉のニーズは年々高まっていますが、当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。

また、メンタルヘルスの推進を目的に普及啓発活動を行いました。

(1) 保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分 () 内は、保健所把握新ケース (内数)

	実人員	延人員
相 談	402(302)	1,064
訪問指導	63(27)	144

イ 相談性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	不明
実人員	226	169	7	1	32	28	56	70	41	27	44	103
延人員	638	418	8	1	123	51	155	271	153	73	106	131

ウ 訪問指導性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	不明
実人員	36	27			1	6	10	9	2	10	18	7
延人員	83	61			6	7	29	26	6	18	44	8

エ 相談・訪問契機

	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相 談	402	32	15	146	123	86
訪 問	63	15	10	13	8	17

オ 相談種別

	実人員	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相 談	402	249	106	16	19	12
訪問指導	63	44	15		3	1

カ 診断名

	実人員	統合失調症	気分(感情)障害	てんかん	器質性精神障害	中毒性精神障害	
						アルコール	覚せい剤・他
相 談	402	74	58	2	3	29	2
訪問指導	63	16	6			1	2
-	神経症	その他の精神障害	診断留保	精神障害と認めず	その他		
相 談	11	18	2	1	202		
訪問指導	3	4			31		

キ 被面接者

	総数	本人	家族	関係者	その他
相 談	1,141	534	296	184	127
訪問指導	210	85	40	51	34

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相 談	1,129	32	948	118	31
訪問指導	210	28	127	21	34

(2) 教育広報活動

ア 自殺対策事業

地域住民や、関係者に自殺予防、うつ病の理解をすすめるための普及啓発や研修会を開催しました。また、職域と連携し、勤労者のメンタルヘルスを推進しました。

(ア) 講演会

	内 容	講 師	対 象	参加者数
H23. 12. 2	うつ病って何？病気の理解と治療	国府津病院 院長 生田勝之氏 (精神科医)	一般	52
H23. 12. 19	知って得するかかわりのコツ	湘南精神保健福祉士事務所 所長 長見英知氏 (精神保健福祉士)	一般	41

(イ) 自殺対策研修会

	内 容	講 師	対 象	参加者数
H23. 6. 24	自殺予防の現状と課題について	横浜市立大医学部精神医学教室 準教授 河西千秋氏	精神保健福祉に関する職員 市町自殺対策担当職員	29
H24. 3. 19	大切な人を亡くした経験から伝えたいこと	全国自死遺族総合支援センター 事務局長 南部節子氏	精神保健福祉に関する職員 市町自殺対策担当職員 対人援助職に従事する方	31

(ウ) 出前講座 (ゲートキーパー養成研修・私のこころサポート講座)

実施回数	内 容	講 師	対 象	参加者数
14回	自殺の現状 相談の受け方 傾聴法 ストレス対処法 精神障害の理解と対応 アルコール関連問題と自殺 他	小田原保健福祉事務所 自殺対策連携推進員 県精神保健福祉センター 相談課職員 湘南精神保健福祉士事務所 精神保健福祉士	保健師、地域包括 支援センター職 員、ケアマネジ ャー、民生委員、 児童委員、ホーム ヘルパー、ボラン ティア 他	339

(エ) 県西地区職域研修会 (働く人のメンタルヘルスケア研修会)

	内 容	講 師	対 象	出席者数
H23. 10. 7	「職場のメンタルヘルス対策」 ～国の取り組み～ 医療機関のリワークプログラム ～事例で学ぶ職場復帰支援～ 県西地域産業保健センターの 利用方法	小田原労働基準監督署 安全衛生課長 長瀬徹也氏 秦野病院 医療相談室長 北森史哉氏 県西地域産業保健センター 山本勲氏 (相談機関利用促進員)	小田原労働基準監 督署管轄の事業所 の事業主、 労務管理者、 安全衛生責任者、 現場監督者、 産業保健担当者等	90
H23. 12. 1	「からだの不調が示すこころの 病気とは～男性(女性)の更年期 とこころの病気」	清水内科クリニック 清水典子医学博士 (労働衛生コンサルタント)	小田原労働基準監 督署管轄の事業所 の事業所に勤務し ている40～50歳代 の労働者	19
H23. 12. 12	「職業生活の不安やストレス対 策～コミュニケーション能力の 向上～基礎編」	(株) 鶴ヶ峰グループ 代表ビヒャルト千佳こ氏 (臨床心理士)		19
H24. 1. 11	職業生活の不安やストレス対策 ～コミュニケーション能力の向 上～対応編」			18

* 小田原労働基準監督署、県西地区産業保健センター、足柄上保健福祉事務所と共催

イ 精神保健福祉協力者の育成・支援

地域の精神保健福祉支援者に精神障害者への理解と対応の技術の向上を目的とした研修を行い、関係機関の連携作りを図りました。

(ア) 精神保健福祉コンサルテーション会議

	内 容	出席者数
H23. 8. 12	子育て中の母への援助	18
H23. 10. 25	うつ状態と考えられる難病の介護者への支援	12
H23. 11. 2	関わりに困難さがある虐待者への息子への対応について	8
H24. 1. 24	不安定な家庭環境にある未成年者の理解と対応について	8

(3) 組織育成活動

精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	総会・例会に出席	3
断 酒 会 、 A A	酒害相談研修会に出席、会場手続き	8
ボランティア・フォローアップグループ	会の運営について助言・研修	3
精神障害者相談支援事業者	情報提供、会議など	4
脳 外 傷 友 の 会	講演会の後援、会議など	3

(4) 社会復帰の援助

ア 精神障害者家族教室

	内 容	講 師	出席家族数
H23. 6. 23	統合失調症とは	精神保健福祉センター 担当部長 山田正夫氏 (精神科医)	16
H23. 9. 29	家族の関わり方の工夫	曾我病院 臨床心理士 馬場彩世氏	13
H23. 11. 8	家族の心身の健康について	生活サポートセンターやすらぎ 所長 本杉康行氏 (精神保健福祉士)	13
延 数			42

イ ひきこもりを考える家族セミナー

	内 容	講 師	出席家族数
H23. 10. 5	ひきこもりの理解と対応	清川遠寿病院 都丸文子氏（精神科医）	24
H23. 10. 14	家族の対応 コミュニケーションのとり方	白梅学園大学子ども学部教授 長谷川俊雄氏 （ソーシャルワーカー）	22
H23. 10. 20	支援者・体験者・家族の話を聴こう	支援者・家族・当事者	21
延 数			67 (実数 28名)

※主催：精神保健福祉センター、青少年センター 共催：足柄上・小田原保健福祉事務所

(5) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法23条)・警察官通報(法24条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件 数	指 定 医 療 診 察 結 果			病院紹介	診察立会い (内数)
		要措置	不 要 措 置			
			入 院	入院外		
23条	0					
24条	1	1				

イ 精神病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神病院に対する実地指導

精神病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査（措置入院者等に対する精神保健指定医の診察）

施 設 数	審 査 結 果					
	措置入院			医療保護入院		
	継 続	移 行	入院不要	継 続	移 行	入院不要
2	1			11		

ウ その他の医療保護事務

	延件数
入 院 届	421
退 院 届	441
定期病状報告	185

(6) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため関係機関で構成する会議を開催しました。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

(ア) 地域精神保健福祉連絡協議会

	構 成 員	内 容	出席者数
H24. 3. 19	<ul style="list-style-type: none">・精神科医療機関・社会復帰関係機関・家族会・相談支援事業者・市町担当課・市町社会福祉協議会・精神保健福祉センター・保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none">・各機関の状況と平成23年度の主な取り組みと今後の予定について・精神検討会について・自殺対策について	24

(イ) 地域精神保健福祉連絡協議会部会（実務担当者会議）

	構 成 員	内 容	出席者数
H23. 6. 24	<ul style="list-style-type: none">・精神科医療機関・社会復帰関係機関・家族会・相談支援事業者・市町担当課・市町社会福祉協議会・精神保健福祉センター・保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none">・平成23年度各機関の事業との協力について・精神保健福祉センターより・自殺対策研修	25